

今、熊本かがやきの森支援学校では・・・(訪問教育終業式 その15)

早いもので令和5年度の一学期が終わろうとしています。早速トップバッターとして、中学部訪問教育3年生生徒の終業식을7月7日の七夕の日にご自宅に伺って行いました。

まず、終業式の次第に則り、開会、校長の話、校歌静聴、閉会という流れで粛々と式を行っていきました。

しかし、それだけでは物足りないと考えた担任から、突然式後の行事があることを告げられました。これまで何度も訪問教育の終業式に参加してきましたが、式後の行事を実施したことが無いため、何が行われるのか興味津々で準備を待つと、「今の季節感をしっかりと感じてほしい。」との思いから、担任がピアノの演奏に合わせて、美しいソプラノの声で「夏が来れば思い出す～」と歌う姿と共に、夏の飾りが風に揺らいている映像が流れてきました。その映像を観ながら、生徒がとても心地よい表情を浮かべていたのが印象的でした、また、その後も「熊本の夏といえば・・・」「サンバ おてもやん」ということで、生徒・担任、中学部主事、校長が赤・青・緑・黄色のはっぴを着て楽しく歌い踊らせてもらいました。同席していただいたお母様も大変喜んでくださって、はっぴを着て、おてもやんの赤いほっぺも付けて、一緒に写真にも収まっていたきました。

式後の行事のおかげで、大変賑やかで楽しい終業式となりました。

これから長い夏休みが始まりますが、体調を崩さないように気をつけつつ、2学期始業式での再会を楽しみにしています。

令和5年7月10日

熊本かがやきの森支援学校長

富永 佐世子

